

古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年 4月27日

開催日	平成27年 4月23日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢区民活動センター	出席人数	14名
講 師	真田雅行氏	作成者	高杉 和枝
テーマ	第2学習 ジョン万次郎帰朝記事④		
概 要	<p>フランクリン号で大西洋から南太平洋まで捕鯨航海を続けた後、米国加州の金山で働き帰国資金を貯め、仲間と帰国の約束をするまでの内容。</p> <p>(1) 1846年(弘化3)</p> <p>8月フランクリン号で捕鯨航海へ出る。捕鯨しながら喜望峰を回り、インド洋からチモールを通り、ソロモンアイランドという人食い島の港で碇を下した。</p> <p>(2) 1847年(弘化4)</p> <p>5月頃ガム島を出港し琉球に上陸するも言語が通じず、琉球の役人より牛2匹を貰う。返礼に船長がアメリカ木綿を贈った。琉球を去る。</p> <p>(3) 1848年(嘉永1)</p> <p>フランクリン号の船長が発病したのでマニラで降ろし、万次郎は鯨突きとなる。マニラは大港で、軍艦や蒸気船が多く繋がっていた。</p> <p>7、8月頃日本近海で奥州仙台の船数艘と出会い、日本に連れて行ってもらいたいと相談したが、話が通ぜず聞き入れられなかった。10月頃オアフ島で大工の弟子になった寅右衛門と7年ぶりに会う。重助は先年死亡。</p> <p>伝蔵と五右衛門にも会う。伝蔵によれば、伝蔵と五右衛門は日本に帰る為、アメリカの捕鯨船に乗せてもらい北海道沖まで送ってもらった。(根室)に上陸したが日本人(村人)の皆が逃げてしまい仕方なく船に戻ったと言う。(注:その前万次郎は再度オアフ島→ガム→日本近海→オアフ島のルートで捕鯨航海するも記述がもれている)</p> <p>(4) 1849年(嘉永2) 8月万次郎 弘化3年のルートを戻りフェアヘーブンに帰港。</p> <p>10月ゴールドラッシュのカルフォルニアに船で向かう。南アメリカの岬を回りカルフォルニアに着き、蒸気船でサクラメントに着く。そこから馬を雇い(シエラネバタ山脈の険しい山道を行き)金山に着く。(砂金を取るも)雇い主が賭博で負け、家財を取られてしまい賃金を払ってもらえず。自力で掘道具等を調達して稼ぎ(帰国資金の)銀600枚を貯める。</p> <p>(5) 1850年(嘉永3)</p> <p>9月カルフォルニアから商船でオアフ島に行き、寅右衛門、伝蔵、五右衛門と会い日本に帰る約束をする。オアフ滞在の紀州の漂流人5人も共に帰国したいと言ってきた。</p>		
次回予定	平成27年5月14日 10:00～12:00 於:区民活動センター 第一学習永嶋家文書⑤		